

## まるパンころころ

20140721/v. 1. 1

<一人操り>

| 1

- |         |             |
|---------|-------------|
| ■ 人形 ■  | ■ 大道具 ■     |
| ・まるパン   | ・家の中        |
| ・お母さん   | ・家の外（家の中の裏） |
| ・子ども①～⑥ | ・原っぱ        |
| ・ニワトリ   | ・森の中 A      |
| ・子ウサギ   | ・森の中 B（Aの裏） |
| ・キツネ    | ・小川         |
| ・ブタ     | ■ 小道具 ■     |
|         | ・パン置きプレート   |

### ■ 家の中 ■



語り 「昔…お母さんと六人の子どもが暮らしていました…  
[お母さんを出しながら] ある日のこと…お母さんは子どもたちのために大きなパンを焼きました…そのパンはとっても熱かったのでお母さんは冷ますために窓辺に置きました… […とプレートに乗せたパンを窓辺の台に置く] すると子どもたちがやってきました [下手から一人ずつ登場して]」

こども① 「[お母さんの前で] いいにおいだなあ…ねえ…お母さん…おなかすいた一つ」

お母さん 「はいはい…さめるまでもう少し待つてね」

こども② 「ねえ…やさしいお母さん…おなかすいた一つ」

お母さん 「はいはい…もう少し待つてね [といいながら②を①の



後ろに並べと接続]]

こども③ 「ねえ…やさしくて親切なお母さん…おなかすいたーっ」

お母さん 「はいはい…もう少し待ってね [といいながら③を②の  
後ろに並べと接続]]

| 2

こども④ 「ねえ…やさしくて親切できれいなお母さん…おなかす  
いたー」

お母さん 「はいはい…もう少し待ってね [といいながら④を③の  
後ろに並べと接続]]

こども⑤ 「ねえ…やさしくて親切できれいで元気なお母さん…お  
なかすいたーっ」

お母さん 「はいはい…もう少し待ってね [といいながら⑤を④の  
後ろに並べと接続]]

こども⑥ 「ねえ…やさしくて親切できれいで元気で大切なお母さ  
ん…おなかすいたーっ」

お母さん 「はいはい…もういいかしら… [といいながら⑥を⑤の  
後ろに並べと接続しパンに近づく…]]

まるパン 「さわらないでー… […と突然動き出す] ぼくはまんま  
るまるパン…生まれたよーっ…これから外へ行ってなん  
でもみてやるぞー」

お母さん 「まあ大変…待ってーあなたは子どもたちのおやつにな  
るのよー [と追いかける]]

まるパン 「いやだよー… […とよける]]

お母さん 「[子どもたちに向かって] 早くみんなでパンを捕まえ  
てーっ」

子どもたち「まてーっ… [と一列で蛇行しながらパンを追いかける]

まるパン 「待たないよーっ [としばらく舞台を右往左往してから  
窓を飛び出して外へ…] バイバーイ…」

お母さん 「ああ…パンがにげちゃった…しかたない…もう一度焼



くわ…でも今度は熱くても食べちゃいましょうね

■ 家の外 ■

☆お母さん、子どもたちを残したまま家の中を裏返して家の外に

13

まるパン 「[窓の下で…] さぁ…これから広い世界を見に行くぞ  
ーっ [と上手に向かうと上手袖からニワトリ登場…]」

ニワトリ 「こんにちは おいしそうなまるパンや…」

まるパン 「[立ち止まって] こんにちは…だあれ？」

ニワトリ 「わしはニワトリの爺さんだよ…お前さんいいにおいだ  
ねえ…ちょっと突っついていいかな？」

まるパン 「だめーっ…ぼくは今うまれたばかり…これから広ー  
世界を見に行くんだよ…だからお母さんから逃げて…子  
どもたちからも逃げた…だからニワトリさんからも逃げ  
ちゃうよー…さよなら…[とニワトリを残して下手に去る  
…]」

ニワトリ 「[追いかけて] ちょっと待てまでーっ…あーあ…逃げ  
られちゃった…しかたない…トウモロコシでも食べると  
するかな… [といいながら上手に入る]」

■ 原っぱ ■

☆家の景をどかし、原っぱを出す

語り 「[場面転換をしてまるパンを下手から出しながら…]」

さぁ…ニワトリから逃げたまるパンは原っぱの中を転が  
って行きました… [上手袖から子ウサギを出して] すると  
子ウサギに会いました…」

子ウサギ 「こんにちは フカフカおいしそうなまるパンくん」



まるパン 「[立ち止まって] こんにちは…だあれ？」

子ウサギ 「ぼくはウサギの子どもだよ…君おいしそうだね…ちょっと一口食べてもいい？」

まるパン 「だめーっ…ぼくは今うまれたばかり…これから広い世界を見に行くんだよ…だからお母さんから逃げて…子どもたちから逃げて…ニワトリさんからも逃げた…だからウサギさんからも逃げちゃうよー…さよなら…[と子ウサギを残して下手に去る]

子ウサギ 「[追いかけて] ちょっと待ってよー…あーあ…逃げられちゃった…いいよいいよ…ぼく家へ帰ってお母さんにニンジンケーキを焼いてもらおうっと[といいながら上手に入る]

14

■ 森の中 ■

☆原っぱを倒して森の中にする

語り 「[まるパンを下手から出しながら…] さあ…子ウサギから逃げたまるパンは森の中を転がって行きました…[上手袖からキツネを出して] するとキツネに会いました…」



キツネ 「こんにちは おいしそうなまるパンさん」

まるパン 「[立ち止まって] こんにちは…だあれ？」

キツネ 「あら知らないの？わたしはキツネのおばさんよ…あなたおいしそうねえ…ちょっと一口いただいてもいい？」

まるパン 「だめーっ…ぼくは今うまれたばかり…これから広い世界を見に行くんだよ…だからお母さんから逃げて…子どもたちから逃げて…ニワトリさんから逃げて…ウサギさんからも逃げた…だからキツネさんからも逃げちゃうよー…さよなら…[とキツネを残して下手に去る]



キツネ 「[追いかけて] ちょーっと…お待ちになって…あら…  
逃げられちゃった…しょうがないわねえ…それじゃお家  
に帰ってお稲荷さんでもいただきましょ…[といいながら  
上手に入る]」

| 5

■ 川のある深い森の中 ■

☆森の中を裏返し深い森にする…中央にブタを出し上手に川を出  
す



語り 「さあ…キツネから逃げたまるパンは森の中をどんどん  
奥に入っていくと…[まるパンを上手から出しながら…]  
すると大きなブタに会いました…」

ブタ 「フカフカおいしそうなるまるパンくんこんにちは…」

まるパン 「[立ち止まって] こんにちは…だあれ？」

ブタ 「ああ…わたしはブタのおじさんだよ…そんなに急いで  
どこに行くのかな？」

まるパン 「どこって…いろんなところさ…ぼくは今うまれたばっ  
かり…これから広ーい世界を見に行くんだよ…それでお  
母さんから逃げて…子どもたちから逃げて…ニワトリさ  
んから逃げて…ウサギさんから逃げて…キツネさんから  
も逃げた…だからブタさんからも逃げちゃうよー…さよ  
なら…[と上手行こうとすると]」



ブタ 「まあまあ…ちょっとお待ちよ…広い世界を見に行くな  
らそんなに急いで転がらないでぼくと二人でのんびり森  
を抜けていったらいいよ…なにしろ森は危ないところが  
いっぱいあるからね…[と小川をみて] ほら…この川をど  
うやって渡るのかな？きみは水に濡れたらとけちゃうよ  
…」



まるパン 「[川を見て] そうだね…どうしよう…」

ブタ 「大丈夫…わたしの鼻の上に乗きなさい…そうすりゃきみを向こうまで乗せてってあげるから [と鼻を出す]」

まるパン 「[川を見て] そうだね…ありがとう…ピョン [とブタの鼻に乗る]」

| 6



語り 「[ぶたとまるパンを動かしながら] こうしてまるパンを鼻の上に乗せたブタは川を渡って行きました…」

ブタ 「それにしてもきみはホカホカ、フカフカ、**ハックション!**…[と…くしゃみをする]と大きく開けた口にまるパンが入ってしまう…そしてそのままストップモーション」

語り 「…あらっ食べちゃった…というわけでまるパンがこれから先へは行けないのでお話もこれで**おひきい**」



#### 《製作メモ》

本作品は一人で操作できるテーブルパペット用台本として下記の2作品を参考にアレンジした

#### 《参考資料》

- ・「パンはころころ」マーシャブラウン作 富山房
- ・「ころころパンケーキ」アスピョルンセン文 偕成社